

こんな活動です

相良三十三観音めぐりおもてなしボランティアへ主体的に参加する活動

球磨	●活動名		●関係する学校名						
	相良三十三観音めぐりおもてなしボランティア		人吉市立第二中学校						
活動区分	学びによるまちづくりや地域課題解決型学習	地域人材育成	郷土学習						
	地域行事への参加・参画	ボランティア・体験活動	学校周辺環境整備	外部人材を活用した教育プログラム					
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	学校運営協議会	有	無	企業・NPO等との連携	有	無
	0人		1人						

● 活動の概要・特徴や工夫

「相良三十三観音めぐり秋の一斉開帳」に、本校生徒12人がおもてなしボランティアとして参加した。校区内の4番札所の三日原観音と7番札所の石室観音において、地元の方々と一緒に楽しく参拝客をもてなすことができた。この取組は平成29年度から始まり、昨年度は中原小学校からの参加もあった。本取組の特徴は、「中学生の地域での活動の場を広げた」という学校の提案から始まった点である。募集をしたところ主体的に希望する生徒がいた。地域の方との打合せや事前指導は学校職員が行った。しかし、参加当日は地域活動と位置付けて、学校職員は引率せず、生徒は地域のおもてなしボランティアの一人として活動した。地域の方や参拝者からも多くのお褒めの言葉をいただき有意義な活動となった。

● 活動の様子



石室観音

「おいしいですよ！」

三日原観音

「お茶をどうぞ！」

おもてなしボランティア

赤○は二中の活動場所

青○は中原小の活動場所



中原小のおもてなしボランティア

5・6年生の約40人が活動しました。

● 地域学校協働活動における効果・成果

(子供) 学校からの呼びかけに、自ら参加を申し出て地域文化を体験しようとする意欲が素晴らしい。地域の一人として大人と一緒に活動することは、地域の皆さんとつながりを深め、社会人として成長する糧となる。また、大人との触れ合いを楽しむこともできた。

(地域) おもてなしボランティアの方々にとっては、高齢化と後継者不足に悩んでいたところに、小・中学生の参加があり、本活動を継承していくという点で、大変嬉しいことである。“おもてなし”ということで、生徒の優しい面を知ること、よりよい関係を結ぶことができた。世代を乗り越えた仲間ができた思いである。

(学校(教職員)) 中学生の地域活動の場として大変よい機会となった。毎年参加希望があり、よりよい活動として定着してきている。平成30年度から中原小学校の児童も参加するようになり輪が広がってきた。